K. International School Tokyo

ADMISSIONS HANDBOOK

2027–28

（2026 年 10 月～2027 年 9 月まで有効）

WE ARE A CIS ACCREDITED SCHOOL

A CIS-accredited IB World School

学校の方針

ミッション

ケイ・インターナショナルスクール東京は、文化的社会的に多様な背景をもった学習意欲の高い子どもたちに、安全で人を支える環境の中で、質の高い教育を提供し、高いモラルと優れた学力及び思考力を備え、国際社会に意義ある貢献をする人材を育成する。それにより、すべての子どもが未来を切り拓く力を身につけられるよう支援する。

ビジョン

ケイ・インターナショナルスクール東京は、すべての学習者が学問において優秀さを示し、他を思いやる気持ちを持ち、平和でより良い世界を作ることに貢献することを求めます。

信条

ケイ・インターナショナルスクール東京は、学校コミュニティの一員として、学校のミッションとビジョンを信じ、それを遵守することにコミットするとともに、以下の信条に従い献身的に関わることが必要であると考えます。

1. 質の高い教育とは、学問的優秀さと国際理解、ならびに人格形成と生涯学習を促進するものである。
2. 安全で人を支える環境とは、尊敬と秩序、寛容と思いやりを生むものである。
3. 高いモラルを持つ人とは、親切で思いやりがあり、正直かつ誠実であり、リスペクトと責任感を持ち、行儀が良く礼儀正しく、確立されたルールを守り、周囲の人々への気配りができ、他者の幸福に対する献身性を表す人を指す。
4. 教育は、生徒、保護者、学校の相互の協力によって成り立つものである。
5. 文化の多様性は、本校のコミュニティを豊かにすると同時に世界への理解を深める。
6. 国際的な視野を持つには、多様で豊かな文化が世界中のすべての地域に存在していることを認識し、各文化のさまざまな信条や伝統に対して寛容を示すことが不可欠である。
7. ホスト国である日本の言語、慣習、伝統、文化的信条は学習経験を豊かにする重要な資源である。
8. 生徒の将来への準備のために、学校全体に繋がっている包括的国際カリキュラムが不可欠であり、学校はこれを定期的に審査する。
9. デジタル機器は貴重な学習の機会を提供するが、一方で、生徒の読解力、数学及び科学の理解力、自分で考える力などの重要なスキルの発達や成長に影響を及ぼすリスクも伴う。そのため、学習に最も効果的な状況でのみ、慎重に活用されるべきである。
10. 学習の重要な道具として、言語力と数学力の向上を特に重視する。
11. 期待値を高く設定することは、しっかりとした学力を身に付けることをサポートし、将来の学問的成功のチャンスを高める。
12. 母国語の発達と維持は、アイデンティティーや自尊心及び認識能力を育て、究極的には学問的成功を収めるために重要である。
13. いじめやハラスメントのない安全で協働的な学習環境を維持するには、必要な場合に適切な行動をとり、学校全体でサポートすることが求められる。
14. 適切な身だしなみと態度の規範の順守が尊敬に満ちた、責任ある、安全な学校環境を促進する。

教育目標

1. 全ての生徒が、国際社会で貢献し成功するために必要な、DP で求められる知識やスキルを高いレベルで身に付ける。
2. KIST 卒業後も質の高い教育を受けられるよう、希望する全ての生徒に一流大学進学への門戸を開く。
3. 大学進学に際し、経済的に支援が必要な生徒が、成績優秀者に送られる給付型奨学金を受けられるようにサポートする。
4. 生徒の家庭との協力的なパートナーシップを通して、生涯を通じて他者との関わりの中で社会に積極的に貢献する、高いモラルを備えた人を育成する。

K. International School Tokyo
1-5-15 Shirakawa, Koto-ku, Tokyo, Japan 135-0021
Tel: 03-3642-9993 (English), 03-3642-9992 (Japanese) | Fax: 03-3642-9994
E-mail: info@kist.ed.jp | Web: http://www.kist.ed.jp

目次

はじめに 1

Section 1: KIST について

1.01: KIST とは？ 1
1.02: カリキュラム 1
1.03: バランスの取れた教育 2
1.04: 卒業生 2

Section 2: 出願と出願資格

2.01: 出願 3
2.02: 学年度と授業時間 3
2.03: 出願年齢及び出願制限 3
2.04: 出願条件及び期待値 4
2.05: その他の必要条件 5
2.06: 在校生の兄弟姉妹の入学 6
2.07: 再入学申請 6
2.08: 短期入学 6
2.09: 進級およびプログラム進学 6
2.10: ウェイティングリスト 7
2.11: 日本国における義務教育について 7
2.12: KIST への準備（K1、K2 及び K3 出願者） 7

Section 3: 出願方法

3.01: 選考の手順 9
3.02: 主な入学時期とその出願期間 10
3.03: その他の入学時期とその出願時期 10
3.04: 空席状況 11
3.05: 出願資格 11
3.06: 願書提出および受験料のお支払い 12
3.07: 書類選考 13
3.08: 入学試験およびインタビュー 14
3.09: ホームスクーリングをしていた児童・生徒の出願条件 16

Section 4: 合否決定および入学時期延期

4.01: 合否の判断 17
4.02: 合否の通知 17
4.03: 合否区分 17
4.04: 合格条件 18
4.05: 合格受理 18
4.06: 短期的な入学延期の申請 18
4.07: 入学後の再審査 19
4.08: 入学試験の再受験について 19

Section 5: 生徒サポート

5.01: 英語サポート 20
5.02: スペシャルニーズのサポート 21
5.03: 慣らし期間（K1 の生徒のみ） 21
5.04: 放課後のエンリッチメントプログラム 21

Section 6: 保護者

6.01: 保護者のサポート 22
6.02: 保護者の関わる学校行事など 22

Section 7: 学費

7.01: 2027–28 授業料 24
7.02: 就学支援制度と奨学金制度 24
7.03: 支払方法 24
7.04: その他の費用 25
7.05: 授業料に含まれているその他のサービス 27
7.06: 支払い遅滞の事務手数料 27
7.07: 授業料の割引 27
7.08: 返金規定 28

はじめに

お子さまの入学先としてケイ・インターナショナルスクール東京にご関心をお寄せいただき、ありがとうございます。保護者の皆さまにとって、お子さまの学校選びはとても大切なことです。どの学校もさまざまな特徴を持っていますので、良くお調べ頂き、ご家庭の価値観に合った、お子さまにとって最適な学校をお選びいただきたいと思います。

生徒に可能な限り最善の教育環境を提供するために、当校では入学に関する基本方針と手順をこのハンドブックに定めています。願書をご提出になる前に保護者の皆さまには、当校について、またその目指すもの、および展望についてご理解頂くことが不可欠だと思っています。そのため、願書提出前にこのアドミッションハンドブックを必ずご熟読下さい。

Section 1: KIST について

1.01: KIST とは?

ケイ・インターナショナルスクール東京（KIST）は、1997 年に創立された、特定の宗教を基盤としない、普通教育を提供する 3 歳児から高校までの私立の男女共学のインターナショナルスクールです。KIST は世界的組織であるインターナショナルスクール評議会（CIS）の認可校です。また、東京都より学校法人の認可を取得しています。

KIST は、伝統的な価値観、トレーニングにより確立された指導方法、バランスの取れた健康的なライフスタイルを通して、将来生徒が国際社会で貢献するために必要なスキルと知識、ボランティア精神を高いレベルで身に付けることを目的に、学問的向上を促進する骨組みの中で、安全で思いやりのある環境を作り上げることを目標とし努力しています。

KIST の生徒は、卒業後も「生涯学習者」としての意欲と、高い向上心を持っています。生徒達は熱心なボランティア精神と高いモラルを持ち、困っている人を助けたいという気持ちを行動で示し、そうした行動が世界をより良くすると信じています。生徒達が成功をおさめられるよう、保護者の皆さまにも生徒たちと学校に対し、十分なサポートを行っていただくことが強く期待されています。

現在、KIST には約 36 か国の国籍からなる 670 名ほどの生徒が在籍しています。また、多くの生徒が多重国籍を有しています。

KIST の魅力

★ 学校全体で一貫性を持たせた、高水準で充実したアカデミック・カリキュラム！
★ 充実した学習支援体制！
★ 習熟度に応じたレベル別の、包括的な日本語プログラム！
★ 多彩な課外活動やエンリッチメント・アクティビティ！
★ 献身的で、熱意を持って指導にあたる教員・指導スタッフ！

1.02: カリキュラム

KIST の教育プログラムは、連続性のある国際的で高度なカリキュラムの枠組みに準拠しており、以下の通り構成されています。

- K1–G5: 国際バカロレア（IB）のプライマリー・イヤーズ・プログラム（PYP）
- G6–G8: KIST Lower Secondary プログラム（LSP）
  —IGCSE（G9～G10）と DP（G11～G12）での成功を見据えた独自のカリキュラム
- G9–G10: International General Certificate of Secondary Education（IGCSE）
- G11–G12: 国際バカロレア（IB）のディプロマ・プログラム（DP）

KIST では、最後の 2 年間に、16 歳から 19 歳の生徒を対象とした、世界各国の大学入学資格として広く認知されている「IB ディプロマ・プログラム（DP）」を提供しています。DP は、学問的に非常に高いレベルを誇るプログラムであり、刻々と変化する国際社会で生徒が成功するために必要な、分析力・批判的思考力・論理的思考力・コミュニケーション能力、そしてボランティア精神を含む幅広いスキルや知識を身につける機会を提供します。DP では、6 つの必修科目をディスカッション型式で学習し、定期的なレポートの提出が求められます。さらに、知的思考力を深めるための「課題論文（Extended Essay）」、哲学的思考を促す「知識の理論（Theory of Knowledge：TOK）」、社会性の育成を目的とした「創造性・活動・

奉仕（Creativity, Activity, Service：CAS）」といった履修要件もあり、多角的かつ実践的な学びが重視されます。このような高度な教育内容により、IB ディプロマで優れた成績を収めた生徒が、世界中の大学から給付型奨学金を授与されることも珍しくありません。

KIST では、学校のミッションを達成すべく、エレメンタリースクールからセカンダリースクールにわたり、質の高い教育と学習支援を提供しています。最終的には、DP において求められるスキルや知識を高いレベルで習得することを通して、生徒一人ひとりが国際社会で活躍できる力を育むことを目的としています。こうした力を身につけることが、DP において高い成果を収めることにもつながると考えており、KIST では DP 最終成績を、生徒の DP における成功を測る指標と位置付けています。

2026 年の 10 月時点で、世界には 160 か国以上、約 6300 の IB 校が存在します。2026 年 5 月には、世界 3,442 校から 209,607 人の生徒が IB DP 試験を受験しました。IB プログラムの詳細は、IBO 公式サイト（http://www.ibo.org）をご覧下さい。

1.03: バランスの取れた教育

KIST では、年間を通じて生徒たちに多彩な課外活動や放課後のクラブ活動、エンリッチメントプログラム、創造的・芸術的な行事など、学習以外のさまざまな機会を提供していますが、同時に学業面での発達にも重点を置いており、特に英語と数学の学力向上を重視しています。その理由は、KIST ではほぼすべての生徒が将来自身の目標や夢を実現し、社会に貢献するための通過点として大学やそれ以上の高等教育機関での学習や研究を続けることを望んでおり、DP での高得点の獲得は、生徒の経済状況や家庭環境にかかわらず、世界中の大学に進学できるチャンスとなるからです。

1.04: 卒業生

KIST では、2006 年に 1 回目の卒業生を送り出し、11 回目の卒業生を送り出した 2015 年から 11 年連続で日本の IB 校において DP 合格者平均点でトップの成績を納めています。2026 年は合格者平均点 **42.7** 点（45 点満点、世界平均 30.9 点）という非常に素晴らしい結果を出しています。2019 年には世界 12 位（IB-schools.com）となり、以降世界 Top 10 に入り、世界のトップ IB 校の仲間入りを果たし、2026 年 10 月現在は世界第 2 位という、世界でも有数の IB 校としての地位をさらに確かなものとしたことを大変誇りに思っています。以下は、KIST 生の幅広い進学先のうち、過去 5 年間の主な合格先をまとめたものになります。また、2022 年以降は実に 93%の卒業生が第一志望の大学・学部に進学しています。

USA

ボストン大学 | ブラウン大学 | カーネギーメロン大学 | ジョージア工科大学 |
ジョンズ・ホプキンズ大学 | スタンフォード大学 |
カリフォルニア大学バークレー校 / ロサンジェルス校 | シカゴ大学 | ミシガン大学 など

カナダ

ブリティッシュ・コロンビア・大学（UBC） | トロント大学 など

UK

ケンブリッジ大学 | ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン（UCL） | インペリアル・カレッジ・ロンドン |
ロンドン・スクール・オブ・エコノミックス（LSE） | キングス・カレッジ・ロンドン |
マンチェスター大学（医学部） | ノッティンガム大学（医学部） | オックスフォード大学 など

日本

東京大学 | 東京科学大学（医学部） | 順天堂大学（医学部） |
早稲田大学 | 慶応大学 | 九州大学 | 名古屋大学 など

その他

香港大学 |香港中文大学 | 香港科技大学 | ルーヴェン・カトリック大学 | ナンヤン（南洋）理工学部 |
シンガポール国立大学 | トリニティ・カレッジ・ダブリン | アムステルダム大学 |
メルボルン大学 | ニューサウスウェールズ大学 | シドニー大学 |
ワイル・コーネル医科大学カタール校 | 延世大学（医学部） など

大学合格・入学実績の完全版は学校ウェブサイト https://www.kist.ed.jp をご覧ください。

Section 2: 出願と出願資格

2.01: 出願

KIST は、学校の方針（ミッション、ビジョン、信条、教育目的）、および学習プログラムに強く賛同し、「国際的な心を持った」ご家庭の、学習意欲が高く、モラルを重んじるお子さまを歓迎いたします。KIST では、人種、国籍、民族、宗教、性別、社会的背景にかかわらず、あらゆるお子さまの入学の出願を受け付けています。ただし、当校には特別な学習支援を行う専門スタッフが在籍していないため、特別な学習ニーズをお持ちのお子さまの出願はお受けできません。身体的な障がいのあるお子さまについては、そのお子さんの具体的なニーズに学校環境が対応可能かどうかを踏まえ、ケースバイケースで検討いたします。

真に国際的な学校環境を維持するため、当校ではあらゆる文化的背景を持つ生徒を受け入れています。多様性を推進するために、各学年およびクラスにおいて生徒の文化的背景のバランスを保つよう努めています。また、学校内での指導言語としての英語の使用環境が損なわれないよう、言語バランスにも配慮しています。各クラスでの男女比にもできる限り配慮しています。

高い学力と意欲、そしてモラルを求めるセレクティブ・スクールとして、KIST ではすべての出願者を評価するための包括的な出願・入学プロセスを設けています。このプロセスを通じて、当校の厳しい学問的環境の中で学習する準備ができているかどうか、また当校の提供するプログラムから最大限の恩恵を受けられる可能性があるかを慎重に判断します。このプロセスの各段階では、出願者が学問的な成功につながる適切な学習習慣や個人的特性をすでに備えているか、あるいは備えることが期待されるかどうかを示す証拠を確認します。

2.02: 学年度と授業時間

KIST の学年度は、8 月中旬に始まり 6 月中旬に終わります。学習プログラムや成績表は 2 学期制（セメスター）をとっています。
セメスター1: 8 月から 12 月　|　セメスター2: 1 月から 6 月

現在の学年度における基本的な授業時間は以下の通りです。年度によって変更となる場合があります。生徒によっては、始業前および／または放課後に補習や課外活動に参加することもあります。

曜日/学年	K1～Grade 5	Grade 6～12
月曜日～金曜日	午前 8:25～午後 3:20	午前 8:25～午後 3:35

2.03: 出願年齢及び出願制限

KIST の新学年度は、8 月中旬からとなります。7 月 31 日を各学年の年齢の区切りとしております。この日程までに全ての出願者は以下の表の通りの年齢であることが求められます。

年齢資格早見表（2027–28）					
学校区分	学年		年齢		誕生日
エレメンタリースクール	K1	お子さまは	3	7 月 31 日までに左記の年齢に達していなければなりません	2023 年 8 月 1 日～2024 年 7 月 31 日
	K2		4		2022 年 8 月 1 日～2023 年 7 月 31 日
	K3		5		2021 年 8 月 1 日～2022 年 7 月 31 日
	Grade 1		6		2020 年 8 月 1 日～2021 年 7 月 31 日
	Grade 2		7		2019 年 8 月 1 日～2020 年 7 月 31 日
	Grade 3		8		2018 年 8 月 1 日～2019 年 7 月 31 日
	Grade 4		9		2017 年 8 月 1 日～2018 年 7 月 31 日

	Grade 5		10		2016 年 8 月 1 日～2017 年 7 月 31 日
セカンダリースクール	Grade 6		11		2015 年 8 月 1 日～2016 年 7 月 31 日
	Grade 7		12		2014 年 8 月 1 日～2015 年 7 月 31 日
	Grade 8		13		2013 年 8 月 1 日～2014 年 7 月 31 日
	Grade 9		14		2012 年 8 月 1 日～2013 年 7 月 31 日
	Grade 10		15		2011 年 8 月 1 日～2012 年 7 月 31 日
	Grade11		16		2010 年 8 月 1 日～2011 年 7 月 31 日
	Grade12		17		2009 年 8 月 1 日～2010 年 7 月 31 日

K1 については、いかなる理由があっても、年齢に達していない方の出願は受付けていません。K2 および K3 については、特別な理由が認識されている場合、誕生日が規定期間を多少前後していても例外的にその学年への出願を受付けることはありますが、お子さまの試験結果、前の学校での学習経験の内容、その他の条件などを考慮して学年を決定します。なお、入学希望のお子さまは、入学日までにトイレトレーニングを完了している必要があります。

G1 以上については、現在在籍している学年、これまでの成績、就学年数、学力レベル等を考慮し、本来の入学年齢から最大で 1 年上または 1 年下の学年への入学希望を特定の場合に限り検討する場合があります。その場合は、願書に具体的な理由を記載し、必要に応じて、その理由を裏付ける書類を提出して下さい。

適格年齢でない入学希望者については、保護者との話し合いを通じて慎重に検討させて頂きますが、学校がお子さまの学習の向上に有害であると判断したり、教員や同じクラスの他の生徒にとって適切でないと判断した場合は要望にお応えできません。

受験者が当校の年度終了間近（4 月～6 月）から入学を希望する場合、当校が定める年齢資格学年度のひとつ上の学年に出願できません（例： 3 月に他の学校で G3 を終了する生徒が 4 月から KIST に入学を希望する場合、G4 ではなく G3 に願書を提出することになります）。

G10、G11、G12 への出願に関する特別制限

G10： Grade 10 への出願は、5 月 31 日以降の出願は原則受付けません。G10 への合格者は、新年度の準備の一環として、8 月上旬に実施される KIST サマーアカデミックプログラム（2 週間）に出席することが求められます。G10 の学年度途中での出願は、他の IGCSE 提供校からの転入であり、且つ、選択教科が KIST で提供しているものと一致している場合に限り受付可能です。

G11： Grade 11 への出願は、7 月 31 日以降は受け付けません。合格者は、新年度開始時にすでに通学可能範囲に滞在しており、速やかに入学できることが条件となります。この日付以降の G11 への入学については、他校の Full IB Diploma コースからの転入生で、かつ、その学校での科目選択が KIST で提供しているものと一致する場合に限り、出願を受け付けます。また、IB Certificate コースを履修している生徒からの出願、および他校の Full IB Diploma から Certificate へのコース変更を伴う転入を希望する生徒からの出願は受け付けていません。

G12： Grade 12 への出願は、原則として受け付けておりません。例外として、他の Full IB DP 校からの転入で、かつ履修科目が KIST で提供している科目と一致する場合にのみ、出願を受け付けます。なお、IB サーティフィケートコース（IB Certificate）を履修している生徒からの出願、またはフルディプロマからサーティフィケートコースへの変更希望は受け付けておりません。加えて、原則として科目やレベル（SL／HL）の変更も認めておりません。これは、各教科における必要な最小履修時間を満たすことができないためです。

2.04: 出願条件及び期待値

良好な学習環境を提供するために、入学にあたっては様々な期待値、条件が設けられています。

学力期待値

KIST では学習に重きを置いているため、K1 を除き、入学希望者は学習意欲が高く、特に G2 以上では、英語と算数／数学を中心とした学習教科において高い学力を有していることが、出願書類において明確に示されている必要があります。

また、G11～G12 で履修するディプロマプログラム（DP）には大学レベルの高度な学習内容が含まれるため、G10 から G11 へ進学するお子さまには、より高い学力が求められます。東京を永住地または長期滞在先としているご家庭で、G11 からの KIST 入学を希望される場合には、DP での成功に必要な知識やスキルを十分に身につける時間を確保するという観点から、より早い学年での出願をご検討いただくことを強くおすすめします。

行動・態度に関する期待値

KIST では、様々な社会的、文化的背景を持つ生徒たちが、偏見のない安全な環境で共に学び、個々の生徒の行動が他の生徒の学習にマイナスの影響を与えることのないよう配慮しています。生徒に求める行動は、以下の行動規範に基づいています。

a) **Respect**（尊敬・尊重）：生徒は、他者に対する配慮と敬意を示し、自身とは異なるものを受け入れる選択をすることで、他者への尊重の姿勢を表します。
b) **Responsibility**（責任）：生徒は、自分自身、他者、コミュニティ、そして環境に対する責任を果たす判断を行うことにより、責任ある行動を示します。
c) **Safety**（安全）：生徒は、安全に配慮した判断を行うことで、自分自身および周囲の人々の身体的、精神的な安全の確保に貢献します。

出願されるお子さまには、模範的な行動、学習に対する適切な姿勢、優れた管理能力、授業中の集中力、他者と適切に関われる能力などを示せることが期待されます。更に、セカンダリースクールの高学年に出願される場合、なぜ KIST で学びたいのか、そして KIST での学習が将来の目標にどのようにつながるのかについて、明確な考えを持ち、自分の言葉ではっきりと説明できることが求められます。

要求される言語力期待値

KIST は、様々な文化的背景を持つ生徒で構成されており、様々な違った言語を生徒は話します。生徒が一つの言語を媒体として一緒に学ぶため、英語を指導言語としています。8 月の学年度初めからの K1 への入学を希望される出願者を除き、入学にあたり生徒は英語において学齢相当のコミュニケーション及び学習スキルを有していることが求められます。セカンダリースクールに出願する生徒は英語で専門科目を学ぶため高いレベルの英語力が求められます。特にコース学習上の特質から、G8 及びそれ以上の学年では言語サポートの必要な生徒の入学はお断りしています。

学校と保護者とのコミュニケーション

KIST では、生徒のご家族とコミュニケーションを取る際、多くの場面で英語と日本語のバイリンガル・サービスを提供しています。英語または日本語のいずれの言語でもコミュニケーションを取ることができない保護者については、適切なコミュニケーションを維持するために、必要に応じて翻訳者・通訳者を手配することは、ご家庭の責任となります。

2.05: その他の必要条件

居住地について

KIST に寄宿設備はありません。住まいやホストファミリーはご自身でご手配下さい。いかなる理由があっても、たとえ短期間であっても生徒の一人暮らしを認めていません。お子さまが両親と離れ、保護者代理あるいはホストファミリーと日本で暮らす場合、保護者代理あるいはホストファミリーも、学習にふさわしい、家庭でのサポート体制が確保されていることを確認するため、スクールでのアドミニスタッフとのインタビューを受けていただきます。

ビザについて

KIST への入学を希望する日本国籍以外の生徒は、日本に居住するための適切なビザを保有している必要があります。ビザの申請は、関係政府機関を通じて各ご家庭が責任をもって行ってください。入学が許可され、所定の学費をお支払いいただいた生徒には、ご希望に応じてビザ申請用の「在学（入学）予定証明書」（有料）を発行することが可能です。ただし、それ以上の申請手続きの支援や助言は行っておりません。適切なビザが発行されるまでは、登校を開始することはできません。また、KIST は入学前および入学後のいずれにおいても、在留資格を証明する書類の提出を求める権利を有します。

制服について

KIST には厳しい服装規定があり、登下校時を含め、生徒は常にそれに従うことが求められます。生徒は在籍期間中、制服

を着用し、保守的な身だしなみを維持することが求められます。髪を染めたり、化粧をしたり、アクセサリーをつけたりすることは禁じられています。男子生徒は髭を剃る必要があります。

2.06: 在校生の兄弟姉妹の入学

既に KIST に在籍する兄弟姉妹がいる出願者も、通常の受験者と同様の選考が行われます。保護者の方のサポート並びに学校行事への参加の度合い、学費の支払い状況などが入学審査にあたり考慮され、合否結果に影響を及ぼすことがあります。

2.07: 再入学申請

過去に KIST に在学していた元生徒が、再入学を希望する場合も選考手順は通常通りとなります。受験料や提出必要書類（KIST から以前に出された成績表は除く）、試験、インタビューについても同様です。なお、退校後 3 年以内に再入学が認められた場合は、入学金と施設拡張費の減額規定が適用されます。

2.08: 短期入学

KIST のカリキュラムは長期的な学習を前提としており、最終的に生徒が IB ディプロマ・プログラムを高得点で修了することを目標として設計されています。そのため、1 学年度未満の短期入学は受け付けておりません。また、学術、語学、文化交流などを目的とした短期受け入れにも対応しておりません。

2.09: 進級及びプログラム進学

入学許可が、上位の学年やプログラムへの無条件の進級・進学を保証するものではありません。KIST では、生徒が次学年へ進級、または次プログラムへ進学（K3 から G1、G5 から G6、G8 から G9、G10 から G11）する際の基準を設けており、進級・進学にあたってはその基準を適切に満たしているか以下の点が考査されます。

- 社会的、情緒的発達
- 学業に対するモチベーションと学習態度
- 保護者のサポートと関与
- 出席状況
- 学業成績

KIST では、学習期待値に到達していない生徒を対象に、始業前および放課後の補習、夏休み中のサマーアカデミックプログラムなど、複数のサポートを提供しています。進学に際し十分なレベルに到達していないと判断された場合、これらサポートクラス、サマーアカデミックプログラムへの参加、個人チューターを付ける、コース変更、留年または退学になります。進学に際しては保護者がお子さまの必須のサポートクラスやサマーアカデミックプログラムへの出席を支持し、従ってくださっているかという点も判断されます。

また、生徒の行動や態度、社会的、情緒的発達が安全な教育環境を維持するために重要だと判断しており、学習期待値と同等に考査され、十分なレベルに到達していないと判断された場合、留年または退学になります。

加えて、学校の教育環境は、学校・保護者・生徒が一体となって築き上げるものであることから、安全かつ効果的な教育環境を維持するために、保護者には生徒の良きロールモデルとなっていただく必要があります。よって、保護者が適切なモラルある態度でスクールコミュニティに関わっているかも、進学基準の検討材料となります。

飛び級については、保護者がその正当性を証明することができ、該当生徒が学力、社会的発達、その他すべての期待値を満たしている特別な場合を除き、通常は許可されません。

2.10: ウェイティングリスト

KIST のウェイティングリストは、入学選考に合格しているものの、希望する学年に空席がない場合に限り、G10 までの生徒を対象としています。ウェイティングリストからの入学の優先順位は、出願順ではなく、各学年のバランスを維持するため、文化的背景、性別、英語力など、さまざまな要素を総合的に考慮して決定されます。

ウェイティングリストの有効期間は、出願された学年度の終了時までとなります。ウェイティング期間中に、翌年度からの入学も希望される場合は、通常の出願手続きに従い、あらためて出願していただく必要があります。この際、翌学年度の入学選考において不合格となった場合は、現在の学年度におけるウェイティングリストの登録も取り消されます。一方で、翌学年度の入学選考に合格された場合は、その学年度の受験料は返金されます。

ウェイティング期間中は、生徒には学力の維持およびさらなる向上に努めることが求められます。空席が出るまでの待機期間が長期にわたる場合には、追加の試験を実施することがあります。その場合、学力が著しく低下していると判断された場合には、入学が認められない、またはウェイティングリストへの登録が取り消されることがあります。

2.11: 日本国における義務教育について

日本の教育法では、義務教育期間中（6 歳以上 15 歳未満）の、次の各号に該当する児童は、日本政府が定める学校に就学することが義務付けられています。

- 日本国籍を有する児童（二重国籍の児童、両親が日本国籍でない児童を含む）
- 父母が日本国籍の児童（父母がどちらかのみが日本人の児童を含む）

義務教育期間に KIST を含むインターナショナルスクールにて就学させても、法律で規定された就学義務を履行したことにはなりません。KIST への入学を検討される際、本件について市区町村の該当部門への問い合わせ等は、各ご家庭の責任となります。

2.12: KIST への準備（K1、K2 及び K3 出願者）

幼稚園（K1、K2、K3）への出願が非常に多く寄せられているため、当校では入学試験時の行動観察において求められる最低限の準備態勢・状況について、以下のガイドラインを作成しました。出願をご検討の際は、ご家庭でこれらの項目をよくご確認いただき、「うちの子は KIST に入学する準備ができているか？」という視点でご判断くださいますようお願いいたします。

学年	学習に関する準備度および性格的・社会的・情緒的準備（K1）	
K1	• グループ活動中、少なくとも 10 分間は一緒にいられる/座っていられる • お話に耳を傾け、指示に従い、グループ活動に参加することができる • 自分のことを自分でしようとする • 教師からの最小限の援助があれば、タスクをこなせる • 仲間と一緒にいられることで自制心を示すことができる • 感情を効果的にコントロールし、癇癪や怒りを抑えることができる • グループ活動や遊びの時間に、仲間と交流し、協調性を示すことができる	
	学習に関する準備度	**性格的・社会的・情緒的準備（K2～K3）**
K2	• グループ活動に少なくとも 10 分以上は参加できる • 簡単な CVC（子音／短母音／子音）単語を読む（例：cat、pig） • 英語での簡単な話し言葉の指示に従うことができる • 英語での簡単な受け答えができる • アルファベットのいくつかの文字を正しく書くことができる • 顔を描くことができる • 基本的な数を数えることができる	• 難なく親から離れる • 遊びの中で、集中力を保つことができる • 教室で、他の子供たちと適切に交流することができる • 順番を守れる • 他の子と物を共有できる • 興味と熱意をもって、進んで活動に参加する • チャレンジングな課題に粘り強く取り組むことができる • 自分の行動を適切に管理する • 大人が話しているときは、耳を傾ける

K3	• 英語で話す • 単語や簡単な文を読むことができる • 話し言葉の指示に従うことができる • 単語や簡単な文を書く • 説明的な単語やアクション・ワードを使って、絵に文字を書くことができる • 単語と単語の間にスペースを入れて、キャプション／フレーズ／文を書くことができる	• 落ち着いて、抑制された態度を示す • 年齢相応の粗大運動と微細運動ができる • 会話を始めることができる

Section 3: 出願方法

3.01: 選考の手順

以下の通り、選考手順の一部として出願は様々な段階を経て進みます。

ステージ 1 アドミッションハンドブックを読む	このハンドブックに学校のポリシーと手順が概説されています。出願の前に本ハンドブックをよくお読み下さい。
↓	
ステージ 2 空席状態確認 ※主な出願時期（1 月の試験）以外の出願の場合のみ必要	主な出願時期以外に願書をお出しになる場合は、事前にアドミッションオフィス info@kist.ed.jp にメールで空席状況をご確認下さい。 ※主な出願時期への出願の際は空席状況の確認は不要です。
↓	
ステージ 3 受験料のお支払い（返金不可）	受験料のお支払いは銀行振り込みのみでお願いします。お支払いいただく際は、必ずお子さまのお名前の記載をお願いいたします。振込手数料はご自身でご負担願います。
↓	
ステージ 4 各種提出書類のご準備・ご提出	願書と共にご提出いただくお子さまの学年に必要な全ての書類をご準備ください。現在通われている学校からのお送りいただく書類についてもお手配ください。
↓	
ステージ 5 オンラインでのご出願	願書は、学校ウェブサイトにリンクされているオンラインポータルを通じてご提出ください。必要事項の入力は、必ず出願者の保護者が行ってください。
↓	
ステージ 6 書類審査	全てが揃った願書他書類一式を受領後、書類審査が開始します。これにはおおよそ 1 週間、主な出願時期の場合は願書数が多いため長くかかります。
↓	
ステージ 7 書類審査結果の通知	書類審査の結果はメールでご連絡差し上げます。書類審査に合格されなかった場合は次のステージに進んでいただくことはできません。その場合でも受験料は返金されません。
↓	
ステージ 8 入学試験 及びインタビュー	書類審査を通過された出願者には、入学試験の日時をメールでお知らせいたします。この通知は試験の 1 週間前にお送りします。試験で十分な学力や態度が確認された場合のみ、保護者面接をご案内します。
↓	
ステージ 9 最終審査結果の通知	試験後に入学選考委員会が招集され合否が決定されます。選考結果は最終的な試験及びインタビュー終了後、1 週間以降（主な出願時期を除く）にメールで通知されます。
↓	
ステージ 10 学費等のお支払い	合格者は席を確保するために期日までに入学金(返金不可)とその他の学費を期日までにお支払い下さい。

願書は、入学希望の学年度の最終日まで有効です。学年度の最終日までにステージ 8 まで進めなかった場合（空席がないため選考試験を行えない場合）、願書は自動的に無効となります。

3.02: 主な入学時期とその出願期間

主な入学時期は、新学年度がスタートする 8 月です。1 月または 4 月からの入学も、空席がある場合には可能です。次の表は、主な入学時期の入学選考スケジュールを示したものです。

2027 年 1 月、2 月、3 月（2026–27 学年度）からの入学希望者

入学願書受付開始	• 2026 年 10 月 17 日（土）
出願締め切り	• **2026 年 11 月 13 日（金）※** ※願書とその他必要提出書類はこの日の日本時間午後 5 時までに弊校に届いている必要があります
入学選考試験	• 2026 年 11 月 26 日（木）
選考結果通知日（メールにて）	• 2026 年 12 月 3 日（木）※ ※海外から受験された（リモート受験）方の結果通知には、通常の受験者よりも時間がかかる場合があります。
学費納入締切日	• 2026 年 12 月 10 日（木）

2027 年 4 月、5 月（2026–27 学年度）からの入学希望者、または 2027 年 8 月*（2027–28 学年度）からの入学希望者（*KIST の新学年度は 8 月からです）

入学願書受付開始	• 2026 年 10 月 17 日（土）
出願締め切り	• **2027 年 1 月 15 日（金）※** ※願書とその他必要提出書類はこの日の日本時間午後 5 時までに弊校に届いている必要があります
入学選考試験	• **K1、K2、K3:** 2027 年 2 月 11 日（木） • **Grade 1〜12:** 2027 年 1 月 14 日（木）、21 日（木）、28 日（木） 2027 年 2 月 4 日（木）、8 日（月）、9 日（火）、 10 日（水）
選考結果通知日（メールにて）	• 2027 年 2 月 26 日（金） ※この日のうちに、結果を順次通知いたします。結果が通知される具体的な時間についてのお問い合わせはお控えくださいますようお願いいたします。 ※リモートで受験された方への結果通知には、通常の受験者よりも時間がかかる場合があります。
学費納入締切日	• 2027 年 3 月 5 日（金）
追加募集	• 2027 年 3 月 1 日（月）より空席がある場合受け付けます。 ※この日以降に、空き状況についてお問い合わせください。締切までに出願されたご家庭の合否結果によって状況が変わるため、この日より前には、空き状況の詳細をお伝えすることができません。

注意：

- 入学試験において、一定水準の学力と適切な態度・行動が確認された受験者については、試験終了後、後日、保護者面接の日程を調整します。学校が指定する複数の日時の中から、ご都合に合わせて最も適した日時をお選びいただきます。
- 11 月の試験（1 月・2 月または 3 月入学）と 1 月／2 月の試験（4 月・5 月、または 8 月入学）の両方を受験することはできません。

3.03: その他の入学時期とその出願期間

上述の主な入学時期以外でも、年間を通じて空席がある間は願書の受付をしております。これらの出願については、願書提出から最終決定までにおよそ 3〜4 週間かかります。書類選考を通過した出願者のみ、入学試験に進んでいただけます。入学試験は、通常毎週木曜日の午前中に実施されます（祝日ならびに学校の行事がある場合を除きます）。書類選考

を通った受験者には最短の試験日をご案内しますが、願書提出のタイミングと受験者の数により受験日までの期間は異なります。試験スケジュールの詳細は、試験日の 1 週間前以内にメールでお知らせします。

3.04: 空席状況

主な入学時期以外で出願を希望される場合は、願書をご提出いただく前に、必ず info@kist.ed.jp 宛にメールで空席状況をご確認下さい。学校へお問い合わせの際は、以下の情報をお知らせください。

- お子さまの生年月日
- ご両親の国籍（出生時の）
- お子さまの現在の学年（就学されている場合のみ）
- 入学を希望される学年
- お子さまの英語レベル

文化的背景、男女比、英語力のバランスを維持するため、お子さまが当校の現在の受け入れ基準に合致しない場合は、すぐにご案内できる空席がない旨をお伝えすることがあります。そのような場合でも、出願をご希望される場合はお申し込みいただけますが、書類選考、入学試験、面接の各段階を通過した場合でも、ウェイティングリストに登録されることをご了承のうえでご出願ください。

受験者の国籍の判断は、保護者双方の出生時の国籍と文化的背景をもとに行われます（お子さまが現在保持している国籍では判断されません）。個々のご事情に応じて、より正確に文化的背景を判断するために、追加情報のご提出をお願いする場合があります。たとえば、保護者がアメリカで生まれていても、その国で育った経験がなく、主に日本語で育った場合は、出願上「日本国籍のご家庭」として扱われます。

なお、空席状況は年間を通じて、在校生家族の移動などもあり、常時変わります。空席確認時点で「空きあり」とお伝えしても、実際に出願書類が届く時点で状況が変わっている場合もあります。さらに、事前に空席の確認が取れていても、出願者数が空席数を上回った場合は、すべての出願者が入学できるとは限らないことをあらかじめご了承ください。

3.05: 出願資格

オンライン願書の記入内容、提出書類のアップロード、受験料のお支払いはすべて出願者の責任で行っていただきます。

出願関連書類

すべての出願者は、下記の書類を学校ウェブサイト上のオンライン出願ポータルを通じてアップロードしてください。スムーズな出願のため、事前に必要書類をご準備いただくことを強くお勧めいたします。以下に記載のない書類（例：一般的な学習プリント、課外活動の参加証明書、表彰状など）は審査の対象とはなりませんので、アップロードはご遠慮ください。

- **氏名及び生年月日を証明できるもの**
  お子さまのパスポート（顔写真ページ）のコピーをご提出ください。パスポートをお持ちでない場合は、氏名および生年月日が明記された、出生証明書、健康保険証、マイナンバーカード、住民票など、他の公的書類でも受付可能です。
- **直近に撮影された出願者（お子さま）の証明写真**
  写真は以下の条件を満たす必要があります。
  - 正面から撮影されたもので、顔のみが写っていること（全身写真は不可）
  - 背景は単色であること
  - 写真に追加加工などされていないこと
  - 撮影から 6 ヶ月以内であること

  離れたところから撮られたもの、全身写真、出願者が正面を向いていない物などは受け付けられません。
- **直近に撮影された家族写真**
  出願者のご家族が写っている、直近の写真（フォーマル・カジュアルどちらでも可）をご提出ください。
- **受験料（40,000 円／返金不可）の振込を証明するもの**
  ※振込明細書や領収書など、支払いが確認できる書類をアップロードしてください。

その他学年によって必要な証明書類:

- **成績証明書**
  - G3 以上の入学希望者: 過去 3 年間分（直近のものを含む）の正式な成績表のコピーをご提出ください。これらの書

類には、学校の印が押されている、または学校によって正式なものと認定されている必要があります。成績表は、以下のいずれかの方法で KIST アドミッションオフィス宛にご提出ください。

- 現在の学校の公式メールアカウントから PDF 形式で送信
- 現在の学校から直接郵送
- 学校印が押された封筒に厳封のうえ、出願者が郵送で提出

教師によるコメントが記載された詳細な成績表が望ましいとされています。成績表はすべて英語でご提出ください。英語以外の言語で作成された成績表の場合は、翻訳を添付してください（翻訳はご家庭での手配も可）。

- G2 以下の入学希望者: お持ちの成績表のコピーまたはスキャンデータをご提出ください。正式な学校発行の原本である必要はありません。オンライン出願ポータルよりアップロードをお願いいたします。

- **学校調査票**（G2 以上**の入学希望者**）
  学校調査票は KIST ウェブサイトから入手可能です。入学希望者の現在在籍している学校に、事前に本フォームを渡して記入を依頼してください。これは親展文書ですので、在籍校から直接 KIST のアドミッションオフィス宛てに、学校の公式アカウントから PDF 形式でメールをお送りいただくか、郵送でご提出いただく必要があります。
- **パーソナルステイトメント**（G8 以上の入学希望者）
  専用書式は KIST ウェブサイトから入手可能です。必ず入学希望者本人が英語で手書きし、署名および日付を記入したものを、オンライン出願ポータルからアップロードしてください。

必要文書・書類条件 [✓ = 必要 | X = 不要 | △ = 可能であれば]				
文書	**K1–Grade 1**	**Grade 2**	**Grades 3–7**	**Grades 8–12**
• 氏名及び出生を証明できる書類	✓	✓	✓	✓
• 直近のお子さまの証明写真	✓	✓	✓	✓
• 直近の家族写真	✓	✓	✓	✓
• 受験料支払い証明	✓	✓	✓	✓
• 学校成績	△	△	✓	✓
• 学校調査票	X	✓	✓	✓
• パーソナルステートメント	X	X	X	✓

その他追加書類（該当する場合のみ、直接 KIST アドミッションオフィスにお送りください）:

- **標準化テストの結果のコピー（お持ちの場合のみ）**
  MAT、MAP、ISA、PSAT、SAT、GL などの標準化テストの結果をご提出ください。ただし、TOEIC、TOEFL、英検などの英語能力試験については、本校が求める水準を測定する試験とは性質が異なるため、対象外となります。
- **ビザの証明書**（日本国籍を持たず、保護者と別居して日本に在住する場合のみ）

願書提出の一般条件

- 提出物は結果の如何を問わず返却致しません。
- 全ての提出文書は英語のみの受付となります。入力間違い、あるいは不明瞭な連絡先による間違いは申請者の責任となります。
- 願書は入学希望者の保護者が必ずご記入ください。出願する生徒、保護者以外の家族や関係者、代理人が出願フォームにアクセスすることは許可されません。
- お子さまが前に受けた教育について全ての情報をご用意ください。同時に何か特別な学習に関する問題がありましたら、その詳細もお知らせ下さい。願書提出時に判っていたことを明らかにしなかった場合、合格の見直し、あるいは取り消しもあります。
- 出願書類にはお子さまの正式な名前（パスポートや出生証明書に記載の名前）をご記入ください。また、オフィスとの口頭・文書によるコミュニケーションにも正式な名前をご使用ください。日常的に使用されている通称やニックネームはご使用にならないでください。更に、カタカナでお子さまの名前を記入される場合、お子さまの英語での正式名称を表すものとしてください。お子さまの正式名称が中国語で漢字記載できる場合も、日本語読みではなく、英語読みの表記をカタカナで記載してください。
- **英語を母語としない方への重要なお知らせ**:
  オンライン願書は英語でのみご入力ください。自動翻訳ソフトウェア等を使用して、願書を他の言語に翻訳して使用した場合、フォームの一部の機能が動作しなくなる、あるいは表示が正しくされない可能性があります。

3.06: 願書提出および受験料のお支払い

願書及び必要書類の多くは、学校ウェブサイト（https://www.kist.ed.jp）からアクセス可能なオンライン出願ポータルを通じ

てのみご提出いただけます。なお、現在または過去に在籍していた学校からの追加書類に関しては、下記の宛先まで、在籍校の公式アカウントからの E メールまたは郵送にて、直接ご提出ください。

- メール: info@kist.ed.jp
- 郵便: K. International School Tokyo
  Admissions Office
  1-5-15 Shirakawa
  Koto-ku, Tokyo, Japan

受験料は銀行振込にて以下の口座にお支払い下さい。**必ず入学希望者（お子さま）のお名前を明記してください。**振込手数料は振込時に自身でご負担願います。

海外から銀行送金される場合は円建てで手数料引き去り後正額 4 万円をお振込下さい。送金銀行、受取銀行双方の取り扱い手数料は受験者でご負担ください。不足が生じないよう送金時に銀行にご確認下さい。受領金額が 4 万円に満たなかった場合は、差額をお支払いいただきます。

受験料お振込口座:
銀行名: みずほ銀行(銀行コード 0001)
支店名: 本所支店(支店コード 050)
住所: 〒130-0026 東京都墨田区両国 4-31-11
電話番号: 03-3631-2121 / +81-3-3631-2121
口座の種類: 普通預金
口座番号: 1937746
SWIFT コード: MHCBJPJT
口座名義: 学校法人ケイ・インターナショナルスクール
略称: ガク)ケイ・インターナショナルスクール
英語名: K. International School

お子さまのお名前、支払日および金額が明記された支払証明書（振込明細など）を、オンライン出願時にアップロードしていただく必要があります。

3.07: 書類選考

毎年多くの方からご出願をいただいておりますが、受け入れ可能人数が限られるため、全ての出願者にご入学いただけるとは限りません。出願者の本校への適合性を判断するため、すべての出願について書類選考を行います。

書類選考では、ご提出いただいた書類一式をもとに、以下の評価基準での判断を行います。
- 願書を通じて示された保護者の考え方が、本校の教育理念および目標と合致しているか
- K2 以上は出願者が英語の素養を有しているか（英語学習の有無、英語圏での生活経験など）
- G2 以上の出願者は、様々な教科の指導を完全に英語で実施している学校に在籍していた期間
- G2 以上の出願者については、成績表において複数の学年にわたり、すべての学業科目で継続して優秀な成績を収めていることが示されているか
- 過去および現在の在籍校からの書類（成績表、推薦書等）がある場合、それらが出願者の前向きさ、積極性、学習意欲や良好な態度、思いやりや協調性を示すものであるか
- 出願者の成績表において、出席率が高く、欠席、遅刻、早退が少ないことが示されているか
- G8 以上の出願者については、パーソナルステートメントの内容が適切であるか
- 出願者の保護者が協力的であることを示す証拠があるか

K1 及び K2 への出願者を除き、上記の評価基準を満たしていないと判断された場合は、書類選考を通過できない可能性があります。

なお、書類選考は、オンライン出願フォーム、受験料、およびすべての必要書類の提出が完了するまで開始されません。選考には通常 1 週間程度かかりますが、4 月／8 月の主な入学時期に関する出願については、それ以上の期間を要します。

書類選考の結果は、メールでのみ通知いたします。すべての出願者が書類選考を通過するとは限りません。書類選考を通

過できなかった場合は、入学試験の段階へは進めません。その場合でも受験料の返金はいたしかねます。なお、書類選考の結果に関する個別のお問合せには対応いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

3.08: 入学試験及びインタビュー

書類選考を通過したすべての受験者は、以下の通り入学試験をご案内いたします。入学試験には、英語テスト（全受験者）、数学テスト（2 年生以上の受験者対象）、および面接（4 年生以上の受験者対象）が含まれます。試験において、一定水準の学力を示し、かつ適切な行動特性を示した受験者については、後日、保護者面接をご案内いたします。保護者面接へのご案内を受けた場合でも、合格したことを意味するものではありません。

すべての受験者に公平を期すため、本ハンドブックに記載されている情報を超える具体的な試験内容について、個別のお問い合わせは受け付けておりません。また、すべての受験者に対し、他の受験者と試験内容の詳細を共有しないなど、試験内容の機密性を厳守していただきますよう、ご協力をお願いいたします。

英語試験

英語試験では、受験する学年のカリキュラムを学習するのに必要な英語力の有無をチェックします。試験内容は以下の通り該当学年により異なり、所要時間も学年により 1 時間から数時間となります。

- K1 と K2
  試験は教室内での行動観察の形で行われます。お子さまは、お絵描きをする、物の名前を言う、塗り絵をする、数を数えるなど、いろいろなアクティビティに参加します。試験官は様々な活動に参加する中でのお子さまの英語力、または英語（又はその他の言語）への反応、および他の子どもたちとの関わり方を観察します。
- K3 およびそれ以上の学年
  試験は、多くのインターナショナルスクールで行われている 4 技能（リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング）の能力を評価する方法をとっています。K3 ではリスニングとスピーキングの 2 つに分かれています。しかし、年度後半からの中途入学の場合はリーディングとライティングのスキルもテストされることがあります。G1 以上の受験者の英語テストは、リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングの 4 技能について行われます。学年に合わせ、センテンス、パラグラフ、またはもっと長い文章の音読、絵を見てそのことについてお話を作って話す、質問に答える、単語、センテンス、またはもっと長い文章（例えば話の続きを書く、答えを書く、録音されたものを聞いてそれについての質問に答えるなど）を課されることもあります。

試験中は、出題された課題に対する集中力および注意力に加え、受験者の全体的な態度、行動、身だしなみ等についても審査員が観察を行います。

K1、K2、K3 への出願者で、主たる募集期間中に出願期限を守って申請された方については、本ハンドブックに記載された日程にて、KIST 校内にて入学試験が実施されます。試験当日は、出願者ごとに学校側が時間枠を割り当てます。年齢の低いお子さまの場合、ご家庭等での午睡等の睡眠時間と重なる時間帯が割り当てられることもございます。大変恐縮ではございますが、出願者数が多いため、各ご家庭のご事情に合わせた個別の時間調整は承っておりません。試験当日までの数日間に、お子さまの睡眠リズムを調整していただくよう、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

数学試験

G2 以上のすべての受験者は、数学（算数）の試験を受ける必要があります。試験時間は、G2～G4 が 45 分、それ以上は、学年および試験の実施時期に応じて 1～2 時間です。G2～G10 については、下記の表に示されているとおり、英国のナショナルカリキュラムと同程度のレベルの試験を実施しています。

2026–27 学年度に対し受験される場合:

テスト時期	出願希望学年	試験範囲
2026 年 8 月～12 月	2	Key Stage 1 Year 2
	3	Key Stage 2 Year 3
	4	Key Stage 2 Year 4
	5	Key Stage 2 Year 5
	6	Key Stage 2 Year 6
	7	Key Stage 3 Year 7
	8	Edexcel IGCSE Mathematics A

		Foundation Tier
	9	Edexcel IGCSE Mathematics A Higher Tier
	10	Edexcel IGCSE Mathematics A Higher Tier
	11	IB DP Mathematics: Analysis and Approaches SL
2027 年 1 月～6 月	2	Key Stage 2 Year 3
	3	Key Stage 2 Year 4
	4	Key Stage 2 Year 5
	5	Key Stage 2 Year 6
	6	Key Stage 3 Year 7
	7	Key Stage 3 Year 8
	8	Edexcel IGCSE Mathematics A Foundation Tier
	9	Edexcel IGCSE Mathematics A Higher Tier
	10	Edexcel IGCSE Mathematics A Higher Tier
	11	IB DP Mathematics: Analysis and Approaches SL

2027–28 学年度に対し受験される場合:

テスト時期	出願希望学年	試験範囲
2027 年 1 月～6 月	2	Key Stage 1 Year 2
	3	Key Stage 2 Year 3
	4	Key Stage 2 Year 4
	5	Key Stage 2 Year 5
	6	Key Stage 2 Year 6
	7	Key Stage 3 Year 7
	8	Key Stage 3 Year 8
	9	Edexcel IGCSE Mathematics A Foundation Tier
	10	Edexcel IGCSE Mathematics A Higher Tier
	11	Edexcel IGCSE Mathematics A Higher Tier

試験形式に類似した Key Stage 試験の過去問題は、こちらのサイト http://satspapers.org/ よりご確認いただけます。これらは出題内容そのものとは異なりますが、試験の構成や形式に慣れるうえで参考となる場合があります。また、IGCSE の数学 A の過去問題は、以下のサイトよりご確認いただけます。
https://qualifications.pearson.com/en/qualifications/edexcel-international-gcses.html

受験者本人へのインタビュー

G4 以上（もしくは 4 月以降からの G3 に入学を希望される）受験者には、エリア校長が面接を行います。時間は 15 分から 20 分程度です。インタビューでは現在の学校について、趣味、関心のあること、学校に求めるものや将来の志望などについての質問をします。また、お子さまからも KIST での学校生活などについて質問をしていただくことができます。インタビューではエリア校長がお子さまの英語力をはじめ、受け答えの姿勢や態度、学習意欲なども観察いたします。

教室での観察

K3 および G1 の受験者には正式な試験に加え、通常の教室で他の子どもとの交流状況の行動観察を行うこともあります。授業のスケジュールやその他の都合により教室での観察が実施されない場合もあります。

リモート受験

出願者の学力と行動特性を明確に把握するため、対面式試験が望ましいと考えておりますので、海外にお住まいのご家族も、可能な限り来日して試験を受けていただくことを強くお勧めします。来日が不可能な場合、直近の学業成績が高く、模範的な行動と意欲が証明されているセカンダリースクール以上（6 年生以上のみ）の志願者は、リモート受験を希望することができます。リモート受験が可能かどうかは書類選考の過程で決定されます。リモート受験が許可された場合、応募者は

Duolingo の英語テストプラットフォーム（有料）を通してオンライン英語テストを受けることになります。これができない場合は、KIST での対面式テストが必要となります。K1 から G5 までの出願者は、リモート受験はできません。兄姉がセカンダリースクールをリモート受験する場合でも同様です。リモート受験を受けた出願者の結果発送まで、通常の出願者よりも時間を要します。

※英語テストは、Duolingo が実施する、KIST とは提携関係のない独立した外部機関によるオンラインテストです。ご家庭のパソコンから受験していただきます。このテストは、受験システムの特性上、非常に厳格な受験条件が定められています（例：受験者以外は同室にいないこと、受験者が画面から目を離さないこと、他のプログラムをバックグラウンドで起動していないこと等）。試験時のトラブルを防ぐため、受験前にお子さまと一緒に受験要項をよくご確認くださいますようお願いいたします。条件が守られなかった場合、Duolingo によってテストが無効と判断され、結果が発行されないことがあります。その場合、KIST では保護者の方に代わって対応することができないため、Duolingo と直接やり取りしていただくことは保護者の方の責任となります。その後、追加費用をご負担のうえでお子様に再度テストを受けさせるか、または東京に到着してから対面でテストを受けるまで待つかについては、保護者の方にご判断いただくことになります。

保護者インタビュー

保護者インタビューは、保護者の教育的信念や教育に対する希望が、本校のミッション、ビジョン、信条、プログラムと合致しているかを確認することを目的としています。インタビューは通常、Zoom を使用してご家庭ごとに個別で行われ、所要時間は約 20～30 分程度です。場合によっては、インタビューはオンラインでなく、学校にお越しいただいての対面式で実施されることがあります。
なお、試験段階において、学力および行動面において適切な特性が示されなかった出願者に対しては、保護者インタビューは実施されません。

保護者インタビューは、英語または日本語で行われます。保護者の方は、希望する言語を選択する必要があります。両親ともに日本国籍の場合は、日本語でのインタビューを選択してください。英語または日本語のいずれにおいても意思疎通ができない保護者は、インタビューの際にご自身で通訳者を手配する必要があり、そのような手配について、事前に KIST アドミッションオフィスの承認を得る必要があります。この場合、通訳者の役割は、面接官と保護者との間で円滑な意思疎通を図るため、話し合われた具体的な内容のみを直接通訳することです。話し合いの中で言及されなかった内容を付け加えたり、質問に対して個人的な考えやコメントを述べたりすることは認められていません。なお、KIST に在籍するお子さまの保護者が、出願するご家庭の通訳者を務めることは認められません。

保護者インタビューにおけるご回答は、以下の基準に基づいて評価されます。

- 国際的教育に関する国際的な考え方
- KIST の指針（ミッション、ビジョン、信条、教育目標）への理解と一致の度合い
- お子さまの将来に関する教育的な見解とビジョンの明確さ
- 家庭におけるお子さまへの支援する能力（精神面および学業面）
- 学校をサポートする意志

3.09: ホームスクーリングをしていた児童・生徒の出願条件

オンラインプログラムまたは特定のカリキュラムに従ったホームスクーリングを受けている出願者は、利用したプログラムまたはカリキュラムに関する情報に加え、そのプログラムまたはカリキュラムから発行された成績表、標準化テストの結果、その他の評価資料をご提出ください。お子さまが、教師によるオンライン授業または遠隔学習を何らかの形で受けている場合は、その教師のうち 1 名に推薦書の作成を依頼してください。KIST 所定の学校調査票（Confidential School Reference）が望ましいですが、教師がこの書式への記入が難しいと判断した場合は、出願者の学業面での成果、行動、学習に対する姿勢などについて説明した書面でも受け付けます。

出願者が特定の外部機関が提供するホームスクーリングを受けておらず、そのため、成績表や推薦書等のご提出が難しい場合、可能な限りお子さまの学力を測れるオンライン試験の結果などをご提出いただくとともに、お子さまが各教科で学習されたカリキュラムや内容の詳細をご提出ください。

入学選考の過程において、出願者の学力に著しいギャップがあることが明らかになった場合、または社会的行動や精神的成熟度が同年代の子どもに一般的に求められる水準に達していないと判断された場合は、入学が認められません。

Section 4: 合否決定および入学時期延期

4.01: 合否の判断

試験及びインタビューの終了後、入試委員会が合否の判断を行います。合否の判断および学年決めは以下を考慮して行われます。

- 出願時に提出された書類
- 出願者の英語試験結果
- 算数・数学試験結果（G2 以上）
- 生徒インタビューの結果（G4 以上）
- 保護者インタビューの結果

更に、以下の要素も考慮されます。

- 空席状況
- 出願者の年齢が該当学年に適当であるか
- 文化的背景や性別、英語力のバランス
- 特に低年齢の児童・生徒に関しては身体的社会的成熟度

4.02: 合否の通知

主な出願時期に関しては、最終結果はお知らせした日時（Section 3.02 参照）までにメールでお知らせします。それ以外の出願時期に関しては、最終的な試験やインタビュー終了 1 週間以降を目途にメールで通知することを予定しています。出願者の数や、さらなる検討が必要な場合などは結果の発表までに 1 週間以上かかることがあります。結果は受験者の保護者にのみ通知されます。

通知結果は最終的な決定であり、交渉の余地はありません。

合否結果に関するフィードバックや個人的なお問い合わせには一切対応いたしません。あらかじめご了承ください。

4.03: 合否区分

選考結果には次のような種類があります。

- **合格** – 選考の結果合格となり、クラスの席が確保されました。**Offer of Enrollment**（合格通知）と一緒に学費の請求書が送付されます。指定期日までにお支払いがない場合、入学は自動的にキャンセルになります。
- **合格（英語サポート条件付き）** – 選考の結果、リーディング、ライティング、リスニング、スピーキングのうち一つ以上のスキル分野で言語サポートを受ける必要があるという条件付での合格としてお席が確保されました。
- **合格（条件付き）** – 選考の結果、学習面または行動面において問題点が見受けられるため条件付きでの合格となります。一定期間において当校での学習状況を確認し、必要となる条件が満たされたうえで、在籍の継続が認められることとなります。一定期間において必要となる条件が満たされなかった場合、合格は取り消しとなる場合があります。
- **不合格** – 選考の結果、不合格となりました。基本的にこの結果は英語及び/または算数・数学のテスト結果が入学を希望される学年の期待値以下であるか、保護者インタビューでお伺いした価値観が学校のものと合わない、あるいは出願者の態度や言動、学習意欲に懸念があった場合に決定されます。不合格の理由は個別にお伝えしておりません。再出願をご検討の際は、あらかじめ選考基準をご確認のうえ、ご自身の出願内容をよくご検討いただくことをお勧めいたします。再出願を希望される場合は、次学年度以降にお願いいたします。
- **ウェイティング/英語サポート条件付きウェイティング** – 出願は合格となりましたが、現在、該当クラスに空席がないため、空席が出るまでお待ちいただく形となります。ウェイティングの有効期限は、出願された学年度の終了時までであり、出

願時期には関係ありません。空席が出た場合には、性別・文化的背景・言語支援の必要性など、一定の基準に基づいてご連絡を差し上げます。なお、入学試験から 6 か月以上が経過している場合は、最終的なご案内の前に、英語力および／または数学力の再評価を行うことがあります（この場合、追加費用は発生しません）。再評価の結果、お子さまの学力が入学基準を満たさないと判断された場合は、出願は無効となります。また、最終的に空席が発生しなかった場合も、該当学年度の終了をもって出願は無効となります。ウェイティング期間中は、他の学校へのご入学もあわせてご検討いただくことを強くお勧めいたします。

学校では、空席が出るかどうか、またいつ出るかについて保証することはできません。空席が出た場合、ウェイティング期間中のいつでもご案内を差し上げる可能性があります。ウェイティング中に入学のご案内をお受け取りになった際、ご事情によりすぐにご入学いただけない場合は、引き続きウェイティングリストに残るか、あるいはリストから削除を希望されるかをお知らせください。なお、学校からご意向の確認のためにご連絡を差し上げることがあります。また、ご家庭のご事情に変更があった場合には、アドミッションオフィスまでご連絡いただきますようお願いいたします。

- **再選考** – やむを得ない事情により、出願者が入学試験日に評価を受けられなかった場合は、状況に応じて新たな試験日を設定し、再度選考を行う可能性がございます。また、年齢の低いお子さまで、強い不安や保護者と離れることが難しいなどの理由から試験に参加できなかった場合、再選考の機会が与えられる場合には、お子さまの成長を待つ期間として、初回の試験日から少なくとも 3 か月以上あけて実施いたします。再選考が完了するまでは、最終的な結果はお出しできず、また、クラスの席を確保することもできません。再選考の実施までに、空席がすべて埋まってしまう可能性があることを、あらかじめご了承ください。

4.04: 合格条件

英語または数学（G2 及びそれ以上の学年）の選考結果により、クラス内サポートの範囲を超えたサポートが必要とされるお子さまにつきましては、平日の始業前、または放課後のサポートプログラム（有料）への参加、および/または、夏休み期間中のサマーアカデミックプログラム（有料）への参加を条件としての合格となります。サポートのレベルにより、参加を必須とするもの、参加が望ましいとされるものなどと条件は異なります。必須となったサポートプログラムにご参加いただけなかった場合、入学が取り消しとなる可能性があります。

4.05: 合格受理

入学許可を受けたご家族はお子さまの席を確保するために早急にお手続き下さい。入学許可書には入学金他請求書が同封されています。入学許可書の有効期限は入学金支払い期日までです。期日までにお支払いがない場合は入学の意思がないものと判断され、入学許可は自動的にキャンセルとなります。また、ウェイティングされているご家族への公正を維持するために、いかなる理由でも払込期日の延長は致しません。一旦辞退された入学は、次のような条件が当てはまる時を除き、再度入学許可を出すことはありません。

- 該当クラスに入学できる空席がある場合
- 入学許可書に記載された入学日の前までに必ずアドミッションオフィスに理由を連絡した場合

上記の条件がすべて整わない限り、再度入学許可を出すことはできません。再度入学許可が認められた場合は事務手数料 3,000 円が発生します。

一度納入された入学金は、いかなる理由があっても返金できません。そのため、KIST から入学許可を受けたご家庭は、入学金をお支払いになる前に、必ずご家庭の状況を十分にご確認いただき、また本校について必要な情報をよくご理解いただいたうえで、入学を受諾されるかどうか慎重にご判断ください。

お支払いが確認され次第、オンライン入学書類ポータルへのアクセス方法をご案内いたします（8 月入学の場合は 6 月下旬頃のご案内となります）。すべてのご家庭には、入学初日までに必要書類をすべてご提出いただく必要があります。初日までに提出が確認できない場合は、教室への入室が認められませんので、あらかじめご了承ください。

4.06: 短期的な入学延期の申請

お子さまの入学許可を受けたご家庭で、来日時期の変更など、予期せぬ事情により入学開始日を延期したい場合は、短期入学延期を申請することができます。延期できる期間は、本校の主要な学期区分（8 月～12 月／1 月～3 月／4 月～6 月）のいずれか 1 期間に限られ、それ以上の延期はできません。また、2 期間以上の延期申請は受け付けられません。

延期方法には次の 2 種類があります。

- **Secured deferral**（席を確保した上での入学時期延期） – お子さまが入学を延期する期間分の授業料と年間一般費をお支払い頂きます（オプションサービスであるバス代、ランチ代を除きます）。
- **Unsecured deferral**（席を確保しない上での入学時期延期） – 授業料等のお支払いは不要ですが、お席は確保されません。延期期間中、他の合格者が出た場合、その時点でお子さまの席は新たな合格者に移ります。入学希望の時点で空きがない場合はその当初出願した学年度末までウェイティングリストに載せることは可能です。

お席が確保された延期・確保されていない延期いずれの場合も、お子さまが初めて登校するまでは正式な入学とはみなされませんので、延期期間は在籍期間には含まれません。

短期的な入学延期の申請を希望されるご家庭は、本校ウェブサイトより「**Application for Enrollment Deferral**」をダウンロードのうえ、お子さまが許可された入学開始日（入学許可証に記載）の前日までに事務局へご提出ください。入学初日以降の申請は受付できませんので、あらかじめご了承ください。

4.07: 入学後の再審査

入学後に入学選考時と異なる事情が生徒に生じた場合、学校は再審査を行います。入学選考時には確認されなかった生徒の学力及び態度と素行に関する問題や、学習/発達障害が入学後に明らかになった場合などが当てはまります。再審査の目的は生徒のニーズを認識し、学校が生徒のニーズに十分に見合った設備やスタッフを用意できるかどうかを判断するためです。そして保護者の方がその生徒のニーズに合ったサポートの出来る分野を判断するためでもあります。KIST は特別支援の専門家を採用しておりませんので、再審査において学校がその生徒のニーズに適切な対応ができないと判断した場合、残念ながら退校という措置をとらせていただきます。

4.08: 入学試験の再受験について

受験は 1 学年度につき 1 回のみ可能です。不合格となった場合は、次の学年度まで出願をお待ちいただく必要があります。また、次の学年度へ出願する場合、最低 6 か月の期間を空けて頂く必要があります。

Section 5: 生徒サポート

5.01: 英語サポート

KIST では、すべての教員が言語指導者であるという認識に基づき、言語は特定の教科や活動に限定されず、すべての教科を通じて指導されます。また、すべての生徒が、それぞれ異なる学習スタイルとニーズを持つ個人であることも理解されています。英語の習熟度に関しては、生徒が自らの能力を最大限に発揮できるよう、教員は授業活動を工夫・調整して指導にあたります。このようなクラス内での指導の差異化に加え、必要と判断された生徒には英語サポート（ELS）が提供されます。ただし、本ハンドブックで説明されているように、提供できるサポートの範囲には限りがあるため、入学にあたっては、学業面およびコミュニケーション面の両方において十分な英語力が必要です。

英語サポートの必要性の評価

KIST での授業を開始する前に、生徒は標準化された英語力評価を用いた事前評価を受けます。この評価は、リーディング、ライティング、リスニング、スピーキングの 4 つの分野に分かれています。評価結果は、どの程度のサポートが必要となるかを判断するための最初の指標として使用されます。サポートを受けている間も、生徒の進捗状況は、生徒の課題サンプル、授業中のディスカッションへの参加、および観察を通して継続的に評価されます。

エレメンタリースクールでの英語サポート

エレメンタリースクールでは英語サポート（ELS）は、生徒自身の現在の英語力だけではカリキュラム内容についていくのが難しい生徒に対して、カリキュラムに含まれる概念や学習内容の理解が得られるよう、また、生徒自身が内容の理解についての表現が行えるよう ELS サポートを行います。次のサポートは、英語学習者の言語能力の発達を促進します。生徒の言語能力、学習活動、教材により、ELS は下記のうちひとつ、また複数にまたがった型態をとります。

- **授業への割り込み、授業からの引き抜き、もしくは指導の差異化**
  割り込み、引き抜き型の混交型サポートは、生徒がカリキュラム内容に触れながら、英語力を発達させることを促進します。引き抜き型のサポートは、学習サポートインストラクターが個別の授業を行うため、一人、もしくは同様のニーズを持った少数の生徒達が通常の授業から引き抜かれた型で行われます。これと対照的に割り込み型のサポートは、学習サポートインストラクターが担任と共に通常授業に参加する形で行われます。どちらのケースにおいても、全ての生徒がその単元の目標を達成し、授業の差異化を行うに当たり、生徒の言語ニーズや学習方法、その他の個人的な背景やニーズが満たされるよう、担任と学習サポートインストラクターが共に授業計画を立てます。生徒が特に十分な英語力を持った仲間たちとの交流において意義ある形で最大限の言語使用の機会を持つことが出来るよう、割り込み型サポートが最も頻繁に採用されます。そのため学習サポートインストラクターは、通常の授業中に差異化された指導において適切な助言を行ったり、生徒に合った教材を使用したりします。しかしながら、ある特定の内容の復習や、技術の習得を目指すには引き抜き型がもっともふさわしいとされる場合もあります。この場合、数回の引き抜き型の授業が行われますが、このような型態の授業は通常教室での次の授業内容に戻るために必要な知識を固めるために行われる単発的なものであることが多いです。

- **言語に特化したカリキュラム並行型のサポート**
  カリキュラム並行型の活動プログラムとして、エレメンタリーでは Learning Enhancement Academic Program（LEAP）が、K3 から G5 の生徒を対象に授業開始前に行われます。これらの 30 分の授業前授業は様々な英語スキルに焦点を当てており、生徒はサポートの度合いにより週 2 回から 5 回受講します。少人数のグループでのサポートにつき人数制限があるため、ニーズを持った生徒に優先権が与えられます。

- **個人の未到達スキルに特化したサポート**
  G2 以上の生徒を対象に、標準化テストの分析結果をもとに英語スキルの特定の分野の向上に焦点をあて、その生徒を次の標準化テストで期待値に到達させることを目的とした、ワンツーマンでの放課後 40 分（週 4 回、全 50 回コース）の強化プログラムとして、Intensive Support Program（ISP）を提供しています。該当生徒の参加は必須となります。

セカンダリースクールでの英語サポート

セカンダリースクールでは英語を母国語としない生徒、または現状の英語力では自力でカリキュラム内容に十分ついていくのが難しい生徒を対象に英語のサポート（ELS）を提供しています。生徒の英語力により、ELS は下記のうちひとつ、または複数のサポートとなります。

- **教室内での英語サポート（G6～G8）**

ELS が必要と判断された生徒は、教室内での英語サポートとして、英語授業（English Language and Literature）や、その他の授業、主に I&S（人文社会）や科学の授業中にサポートが提供されます。

- **アカデミックライティング（論文作成）クラス**
  セカンダリースクールの G6～G8 で、時折 ELS サポートが必要であると判断された生徒は、主にライティング能力の向上を目的とした追加の放課後アカデミックライティングクラスを受講することが義務付けられます。このクラスでは、さまざまなライティングのジャンルについての理解を深め、文章を書く状況に応じた適切な文体で、正しい形式を用いて文章を作成できるようにサポートします。アカデミックライティングクラスは、英語教科主任の統括のもと、ELS インストラクターが指導します。

5.02: スペシャルニーズのサポート

KIST では学習支援スペシャリストを採用しておりませんので、学習、行動、精神的なスペシャルニーズを必要とするお子さまをお受けすることができません。入学後にサポートが必要と判断された場合、お子さまのニーズにあった他の学校を探していただくことになります。

5.03: 慣らし期間（K1 の生徒のみ）

学校に初めて通うお子さまは、さまざまな感情を経験します。わくわくして自信に満ちた様子の子もいれば、不安や緊張を感じる子もいるでしょう。不安の多くは、保護者と離れることへの戸惑いに起因しており、特に初めて集団の中で過ごす場合は、その傾向がより顕著です。また、母語が英語でないお子さまにとっては、英語環境での学校生活がさらに大きなチャレンジとなります。

KIST では、お子さまが学校生活にスムーズになじむことができるよう、入学時期にかかわらずすべての K1 新入生を対象に慣らし期間（Gradual Entry Program）を設けています。このプログラムでは、一定の期間をかけて、段階的に学校生活に慣れていきます。なお、入学の時期によっては、プログラムの内容が若干異なる場合があります。

新学年度の初めから KIST に入学する生徒には、2 週間の慣らし保育期間があります。最初の週は、生徒を 2 つのグループに分け、午前と午後のいずれかの短時間セッションに参加します。次の週には、全員が登校し、やや長めの午前セッションを行います。3 週目からは通常の授業時間となります。

学期の途中から KIST に入学した場合は、登校初日から 5 日間が慣らし期間となります。この期間中は午前中のみ登校し、昼食前に帰宅します。5 日間終了時の適応の様子によっては、慣らし期間を延長することもあります。

慣らし期間の詳細については、入学決定後お知らせいたします。

5.04: 放課後のエンリッチメントプログラム

各種習い事（エンリッチメント・レッスン）：プロの講師による放課後の習い事を、学校内の施設を利用して実施しています。生徒は外部の施設に移動することなく、安全かつ効率的に参加できるのが特長です。提供されるプログラムの一例としては、バレエ、ヒップホップ／K-POP ダンス、ゴルフ、クリケット、3D プリンティング、サッカー、体操などがあります。これらのレッスンには、別途料金がかかります。

ホームワークサポート：放課後学校で宿題を終えて帰れるようにサポートします。ご自宅に帰ってからは、家族での団らんや読書等の時間を作れるよう、宿題を学校で終わらせて帰宅できるようサポートします。別途料金がかかります。

Section 6: 保護者

6.01: 保護者のサポート

KIST では、良い学校とは、学習面での優秀さに加え、温かく思いやりのある学校環境、人と人との豊かなつながり、そしてご家庭との強い信頼関係があってこそ成り立つものだと考えています。信頼関係は、ご家庭での学習サポートに加え、保護者の皆さまが学校行事やさまざまな活動に積極的にご協力いただくことによって築かれていきます。KIST では、お子さまの教育や学校活動に積極的に関わる保護者の姿が、お子さまにとって素晴らしいお手本になると信じています。

KIST では、K1 から G12 までのすべての学年において、保護者が継続的にお子さまの教育に関わることを強く期待しています。学年が上がるにつれて、さまざまな理由から、お子さまの学校生活に目を向ける時間が少なくなっていくことはよくあります。子どもが成長すれば、自立して行動できるだけの常識や力が備わっていると考えがちですが、それは必ずしも十分とは限りません。特にセカンダリースクールに進学し、思春期を迎える時期には、保護者の関わりがこれまで以上に重要になります。さらに、G11・G12 で履修するディプロマ・プログラム（DP）は学習負荷が高いため、保護者のサポートは不可欠です。

いくつかの年間行事へのご家族の参加は必須となっています。これらには KIST Festival（学園祭）、保護者説明会、三者面談、生徒主導型面談、ファミリーデーなどを含みます。年間行事の日程はご家族に事前に予定していただけるよう、年間カレンダーにてお知らせします。

多くの保護者の方にはお仕事など、それぞれの都合があることは承知しておりますが、学校全体の全学年のご家族がお子さまのために学校をサポートしていただくことをお願いします。

6.02: 保護者が関わる学校行事など

KIST では保護者の方に様々な行事に参加していただきます。これらの行事には以下のものが含まれます。

Parent welcome nights | ようこそ/おかえりなさい保護者会

学年度の初めに行われるこのセッションでは、保護者にその学年度の学校/クラスに関する説明を行います。保護者はこの機会に担任に会い、新しいクラスでの決まりごとや、求められていることを知ることができます。

Parent/Teacher/Student conferences | 三者面談

セメスター1（セカンダリースクールはセメスター2 も）に行われるこの面談は、お子さま、保護者、教員の 3 者による、お子さまの勉強の成果や応対について話し合う機会を提供します。新学年への取り組み方や、年間の学習や行動の目標について話し合います。

Student led conferences | 生徒主導型面談会

エレメンタリースクールでは、お子さまの学習評価の一環として、保護者にはこの面談会に出席していただきます。セメスター2 に行われるこの生徒主導型面談会を通して、お子さまは、日ごろの勉強の成果を保護者にお見せするだけでなく、自分の勉強の進み具合、自分で管理する責任を学ぶことができます。他の人に自分が学んだことを説明することで、より理解を深めることができます。

Annual parent information session | 重要事項保護者説明会（年 1 回）

毎年秋に理事会による、教育目標に対する昨年度の成果報告や、今学年度の教育目標への取り組み、決算報告、次学年度の学費などについての説明会となります。

Coffee mornings & educational information sessions | 保護者のための勉強会および茶話会

当校のカリキュラムをより理解いただき、お子さまの学習を積極的にサポートしていただくために保護者を対象としたカリキ

ュラムや評価法、宿題へのかかわり方等について、勉強会や茶話会を年間を通して開催しています。

Excursions | 遠足、課外授業

お子さまのクラスの遠足や課外授業に保護者にお手伝いしていただくことがあります。これは、お子さまたちと一緒に未知の世界を探求し、新たな発見を得るという絶好の機会となります。

Class parents | クラスペアレンツ

エレメンタリースクールでは、担任や学校から依頼があった際、クラスの取りまとめやサポートを行う役目として、各クラスで「クラスペアレンツ制度」をとっています。通常各クラス 1～2 名の保護者のボランティアをお願いしています。

KIST Community Association（CA） | 保護者会

すべての保護者は、お子さまが本校に在籍している間、KIST 保護者会（CA）の会員となります。年度の初めに、その年度の会費が集められます。CA では、ボランティア活動や財政的な支援を通して学校の発展を支えるとともに、スクールコミュニティーのすべてのメンバー間のコミュニケーションを促進しています。保護者の皆さまには、役員会やその他の準備委員会などを通して CA で積極的に活動していただきたいと思います。

KIST Festival | 学園祭

毎年原則 10 月第 4 土曜日に KIST Festival（学園祭）が行われます。ここでの収益は、設備の充実、学校の教育環境向上のために取り組む特別プロジェクト等に使われます。全ての保護者の方に前日の準備と、当日のお手伝いが義務付けられています。食べ物、商品の提供、販売する食べ物の材料、運営費などのサポートもお願いしています。

Family Day | ファミリーデー

KIST コミュニティーの親睦をはかることを目的に、毎年 5 月下旬の土曜日にファミリーデーが開催されます。当日は、お子さま、保護者、教職員が皆で競技や、体を動かすアクティビティを楽しみます。楽しく和やかな雰囲気の中で、教職員やご家族同士が交流を深める機会となっています。

Board of Directors coffee morning | 理事会主催茶話会

毎年 6 月に理事会メンバーが全校の保護者を招待し、カジュアルな雰囲気の中で様々なエリアの保護者の皆さまと直接交流し、学年度を振り返り、また、来学年度以降に向けてのご意見などを共有する機会となります。

KIST golf tournament | KIST ゴルフコンペ

年 1 回、保護者、卒業生、学校理事、評議員、マネジメントチーム及び教職員、その他学校関係者の皆様と、和気あいあいとした楽しいゴルフコンペを通じて交流を深めます。

Section 7: 学費

7.01: 2027–28 授業料

KIST は日本国政府等から助成金を受けていないため、学費の納入のみで学年度ごとの運営を行っております。学費は、人件費の定期昇給分及び経費の上昇を吸収するため毎年一定額の改定があります。急激な物価変動や教育政策の大幅な改革など、更なる改定が生じる場合は、出来るだけ早い段階で保護者の皆さまにお知らせいたします。

学校法人認可を受けている KIST は、学費や学校関連の支払い（スクールランチやバスサービスなど一部サービス、制服等の物販を除き）には消費税は適用されません。

学費

種類	学年	金額	支払い時期
受験料	全学年	¥40,000[1]	出願時
入学金		¥300,000[1] （再入学時: ¥60,000[2]）	入学時のみ
施設拡張費		¥800,000 （再入学時: ¥160,000[2]）	
授業料	K1 - K3	¥3,100,000[3]	年額
	Grade 1 - Grade 9	¥2,930,000[3]	
	Grade 10 - Grade 12	¥3,050,000[3]	
施設費	全学年	¥250,000[4]	
CA（保護者会）会費		¥1,000	
キャンプ代	Grade 5、7、9、11	金額は変動[5]	第 1 回授業料支払時
プログラム進学費	Grade 1、6、9、11	¥30,000[1]	進学時のみ

[1] 返金いたしません。
[2] 3 年以内に KIST に再入学する際には割引料金となります(退校の日付から 1･2･3 年以内に再入学する生徒が対象です。退校日から 4 年目以降に再入学する生徒には適用されません。)
[3] 授業料には、外部試験費用（GL、IGCSE、DP）、教材費、上表に記載されている学年のキャンプ費用以外の遠足代、一部の教科書代（G1～G9: Mathematics & English、DP: Mathematics）が組み込まれます。
[4] 4 月以降から入学する生徒については、100,000 円に減額されます。
[5] キャンプ費用は、キャンプの行先によって異なります。

7.02: 奨学金制度

入学1年目の生徒は、奨学金制度の対象となりません。

KIST 特待生奨学金

G7～G12 の生徒で、学校のミッション、ビジョン、指針となる信念に従って学校に多大な貢献をし、優れた学業成績を収めるとともに、他の生徒の模範となることで、学校の精神を真に表す資質を示した生徒は、入学 2 年目から KIST 特待生奨学金に応募する資格があります。この賞に関する情報は、毎年、全家庭に配布されます。

7.03: 支払方法

学費は、一年分を一度にまとめて（年間一括払い）か、3 回に分けて（分割払い）銀行振り込みでお支払いいただきます。

1 月･2 月に面接および入学試験を受け、4 月または 8 月に入学される方の支払期限は、セクション 3.02 をご覧ください。それ以外の時期での入学の場合、原則として、合格通知日から 1 週間以内にお支払いいただきます。

年間一括払い

新入学時の年間一括払いの金額は下記の表のとおりです。

K1～K3	
入学金	¥300,000
施設拡張費	¥800,000
授業料	¥3,100,000
施設費	¥250,000
CA 費	¥1,000
支払額	¥4,451,000

Grade 1～9	
入学金	¥300,000
施設拡張費	¥800,000
授業料	¥2,930,000
施設費	¥250,000
CA 費	¥1,000
支払額	¥4,281,000

Grade 10～12	
入学金	¥300,000
施設拡張費	¥800,000
授業料	¥3,050,000
施設費	¥250,000
CA 費	¥1,000
支払額	¥4,401,000

分割払

授業料のみ分割払いができます。その他の費用（入学金、施設拡張費、施設費と CA 費）は第 1 回目に全額をお支払いいただきます。新入学時の分割払いは下表をご覧ください。

K1～K3			
	第一回	第二回	第三回
支払期限	3 月 6 日	9 月 15 日	12 月 15 日
入学金	¥300,000		
施設拡張費	¥800,000		
授業料	¥1,240,000	¥930,000	¥930,000
施設費	¥250,000		
CA 費	¥1,000		
計	¥2,591,000	¥930,000	¥930,000
支払額	¥4,451,000		

Grade 1～9			
	第一回	第二回	第三回
支払期限	3 月 6 日	9 月 15 日	12 月 15 日
入学金	¥300,000		
施設拡張費	¥800,000		
授業料	¥1,172,000	¥879,000	¥879,000
施設費	¥250,000		
CA 費	¥1,000		
計	¥2,523,000	¥879,000	¥879,000
支払額	¥4,281,000		

Grade 10 – G12			
	第一回	第二回	第三回
支払期限	3 月 6 日	9 月 15 日	12 月 15 日
入学金	¥300,000		
施設拡張費	¥800,000		
授業料	¥1,220,000	¥915,000	¥915,000
施設費	¥250,000		
CA 費	¥1,000		
計	¥2,571,000	¥915,000	¥915,000
支払額	¥4,401,000		

1 月・2 月の入学試験期間以降に出願するお子さまについては、第一回の支払期限は、合格通知日より 1 週間以内となります。第二回、第三回の支払期限は、上記の通りです。

入学 2 年目以降の分割払いの支払期限は、下表の通り授業料は 3 回に分けてお支払いいただきます。その他の一般費用は、第 1 回の支払期限である 5 月 15 日にお支払いいただく必要があります。支払いの詳細を記載した年間請求書は、在籍を継続するすべてのご家庭に、3 月に配付されます。各支払期限の 15 日が土曜日、日曜日または祝日にあたる場合は、翌営業日が支払期限となります。

学費	支払期限
第一回	5 月 15 日
第二回	9 月 15 日
第三回	12 月 15 日

7.04: その他の費用

スクールバスやスクールランチの費用、教科書代（必要に応じて）などの請求書は別に送られます。

制服

KIST では全校生徒に制服の着用が義務付けられています。夏用・冬用の制服に加え、体操服があります。現在の価格に基づく制服の費用の目安は、以下のとおりです。
エレメンタリー: **男子**:74,000 円～／**女子**:66,000 円～
セカンダリー: **男子**:94,000 円～／**女子**:92,000 円～

スクールバスサービス

年間 110,000 円～440,000 円

KIST ではエレメンタリー生徒の登下校用にスクールバスを提供しています。バスルートや停留所は毎年見直され、変更される場合がありますので、現行のバス停の近くへの引越しを検討されている方はご注意下さい。バス停の決定権は原則的に学校にあり、個人の要望に応じて調整を行うことは出来ません。セカンダリー生は授業時間の関係でスクールバスサービスを利用することはできません。

スクールバスの座席数は限られているため、**バスサービスに申し込まれた全てのお子さまにご利用頂けるとは限りません。**空席がない場合お子さまはウェイティングリストに入り、空席が出次第申し込み順で利用のご案内をさせていただきます。

スクールバス料金は年間 3 回に分けて請求され、往復または片道のいずれかをお選びいただけます。()内の金額は 10%の消費税込です。

Blue Bus バス停	**往復**	**片道**
(中央区): 晴海、勝どき、月島	20,000 円(22,000 円)/月	10,000 円(11,000 円)/月
(江東区): 東雲、豊洲	20,000 円(22,000 円)/月	10,000 円(11,000 円)/月
Orange Bus バス停		
(港区): 西麻布、六本木 1 丁目	30,000 円(33,000 円)/月	15,000 円(16,500 円)/月
(渋谷区): 渋谷	40,000 円(44,000 円)/月	20,000 円(22,000 円)/月
Pink Bus バス停		
(港区): 麻布十番、大門(午後のみ)、芝公園(朝のみ)、天現寺	30,000 円(33,000 円)/月	15,000 円(16,500 円)/月
(品川区): 五反田、目黒	40,000 円(44,000 円)/月	20,000 円(22,000 円)/月

K1～K3 の生徒でスクールバスを利用しない場合は、保護者または学校に事前に登録・申請された送迎者が、学校の敷地内まで送迎を行う必要があります。まお、学校周辺の道路への駐車は、短時間であっても固く禁止されています。お子さまの送迎方法を決める際には、これらの条件を十分にご考慮ください。

スクールランチサービス

スクール内のカフェ「NK カフェ」は、学校とは別に運営されている私企業です。NK カフェは生徒向けのランチサービスを提供しています。ランチはオーガニックまたはそれに近い食材を使用し、栄養価が高くバランスの取れた内容となっています。ただし、アレルギー対応や特別な食事制限には対応していません。ランチは毎日または曜日を指定して注文することができます。1 食あたりの料金は下記のとおりで、() 内は 10%の消費税込みの金額です。
幼稚園サイズ 530 円(583 円) ｜ エレメンタリーサイズ 640 円(704 円) ｜ セカンダリーサイズ 670 円(737 円)

教科書

セカンダリースクールでは、一部の教科書や教材書籍などは各ご家庭でご購入していただきます。お子さまが選択した科目や年度によって、教科書と教科書の値段は変わります。

延長預かり(K1 から G3 のみ)

保護者の方のお仕事やその他の都合により、通常のスクール時間より早く登校する必要がある、または通常のスクール時間より遅くまで学校で過ごす必要があるお子さまを対象に、平日のビフォーケア、およびアフターケアを提供しています。**延長預かりの利用には定員があるため、あらかじめ定められた**優先基準に基づいて利用者を決定します。

	ビフォーケア	**アフターケア**
月曜日～金曜日	午前 8:00～8:25	午後 3:25～6:00

ビフォーケア

回数/週	**料金(月額)**

アフターケア

回数/週	**料金(月額)**

				Session 1 （午後 3:25～5:00）	Session 2 （午後 5:00～6:00）
5	¥21,000		5	¥45,000	¥30,000
4	¥16,800		4	¥36,000	¥24,000
3	¥12,600		3	¥27,000	¥18,000
2	¥8,400		2	¥18,000	¥12,000
1	¥4,200		1	¥9,000	¥6,000

超過料金

放課後のお迎えが 10 分以上遅れた場合、1 時間あたり 2,500 円の超過料金が発生します。これは、K1～K3 の生徒および「保護者によるお迎えが必要」とされている生徒の保護者が対象です。また、スクールバス利用者であっても、保護者によるお迎えが必要な場合、そのお迎えが遅れた際には同様に適用されます。

生徒用ノートパソコンおよびデバイスについて

G9～G12 の生徒は、Windows 対応のノートパソコンを各自で用意する必要があります。学校で使用するノートパソコンには最新版の Windows 11 がインストールされていなければなりません。生徒には KIST での在籍中に使用できる Microsoft 365 のライセンスが提供されます。また、低学年のお子さまが宿題や勉強のために自宅で使用するコンピュータの購入を検討されているご家庭は、学校全体で使用されている特定のソフトウェアとの互換性を確保するため、Windows オペレーティングシステムを搭載したデバイスを購入することを強くお勧めします。

ノートパソコンに加えて(代替としてではなく)、G9～G12 の生徒は、任意でタブレット端末（iPad や Android タブレット）およびスタイラスペンを授業中のノートテイキング用に持参することが可能です。ただし、スマートフォンを使ってノートを取ることは認められていません。なお、ノートパソコンやタブレットを使用する前には、必ず学校の IT オフィスにて登録が必要です。

Pamoja オンラインコース（DP のみ）

G11～G12 の DP において、IB によりオンラインで提供されている教科を履修する場合、原則その費用は各自でご負担いただきます。

7.05: 授業料に含まれているその他のサービス

教室内言語サポート（K1～G8）

教室内での言語サポートは、適切な英語能力を習得するために追加でのサポートを必要とする生徒に提供されます。

スタディーホール（G9～G12）

学校の定めた基準により、監督者の元で、週 3 回、もしくは週 4 回アフタースクールで自習します。

サプリメンタルクラス（G12）

サポートが必要な科目に対し、補習クラスを提供します。

課外活動（クラブ活動）

G1 以上の生徒には放課後様々なクラブ活動を、一年を 2 期に分けて提供しています。クラブ活動には追加費用はかかりません。ただし、セカンダリー生で対抗試合・リーグ戦を伴う運動部に参加する場合、リーグ参加費用（審判費用、コーチへの謝礼、トーナメント参加費、メンバーシップ費用等）を賄うための参加費は別途必要となります。

7.06: 支払い遅滞の事務手数料

お支払い期限を過ぎた場合、請求書 1 件につき 3,000 円の事務手数料を請求させていただきます。お支払が遅れることが予想される場合は、支払期限前に経理部（accounts@kist.ed.jp）までメールにてご連絡いただければ、事務手数料は発生いたしません。

7.07: 授業料の割引

再入学者特別金額

入学金および施設拡張費は、当校への入学時にのみお支払いいただく費用ですが、在籍を継続している期間に限り有効です。一度退校した後、改めて入学を希望して出願する場合は、両費用を再度お支払いいただく必要があります。ただし、退校後 3 年以内に再入学を希望して出願される場合には、減額措置が適用されます。

年度途中の入学

年度途中からの入学の場合、入学時期によって授業料は所定の計算方法により減額されます（月途中からの入学でも月初からのとして計算）。また 4 月から 6 月間での中途入学の場合、施設費は減額になります。

7.08: 返金規定

受験料と入学金は返金されません。

入学時にお支払いいただく学費やその他諸経費（施設拡張費、施設維持費、CA 会費）は、日本時間における初登校日前日までにメールにて入学辞退の連絡があった場合のみ全額払い戻し可能です。

諸経費の返金については入学後の各ご家庭にお知らせいたします。